

OTC薬、プライマリケアを対象とする

## 薬剤師の臨床判断ワークショップ 2014

### 対象症候『皮膚・粘膜症状』

OTC薬（一般用薬）は、プライマリケア、セルフメディケーションのツールとして、地域の医療システムの中では重要な役割を担っています。薬局、ドラッグストアで、OTC薬を取り扱う薬剤師は、地域医療の入り口をあずかる者としての意識と責任と能力が必要です。

OTC薬でセルフメディケーションを支援する薬剤師には、OTC薬が妥当とされる患者と、受診勧奨や緊急対応などを要する患者を適切に判断すること、すなわち、臨床判断の能力を身に付ける必要があると考えています。日本アプライド・セラピューティクス学会では、良くある症候（頭痛、腹痛、咳・呼吸困難）を対象とする『薬剤師の臨床判断ワークショップ』を積み上げながら、臨床判断の指針の確立を目指してきました。今回、新たに皮膚・粘膜症状を対象に臨床判断の考え方、医療現場での取り組み方を習得していただくよう進めて行く計画にしています。

今回取り上げます「皮膚・粘膜症状」は薬局に健康相談で来局される方の代表的な症候です。皆さんは「皮膚・粘膜症状」を訴える患者に、薬局窓口でどのように対応されているでしょうか。患者の病態を反映する情報や所見を自ら収集して疾患を推測し、さらに薬剤師が適切な対処法を選択して（トリアージ）提案できるよう、演習と実習を通じて実践能力を向上させ、セルフメディケーションを支援するプライマリケアの担い手としての実力を向上させましょう。

日時：2014年11月9日（日）9:00～18:00（受付開始：8:30）

会場：金城学院大学薬学部 W9号館

<http://www.kinjo-u.ac.jp/contents/access.html>

企画：木内祐二 先生（昭和大学薬学部）、狭間研至 先生（ファルメディコ(株)）

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会

#### 概要

- 1) 「皮膚・粘膜症状」に対する臨床判断  
患者からの情報収集と疾患の鑑別  
患者に対するトリアージのプラン作成  
— グループ討議とロールプレイを中心に —
- 2) フィジカルアセスメント  
基本的なバイタルサインの測定方法  
— 聴診、血圧測定などの実習 —

募集人数：40名（1グループ10名）

参加費：会員・準会員 5000円 非会員：10000円

参加申込：メール件名を「臨床判断ワークショップ2014皮膚・参加希望」として、所属、氏名、会員/準会員/非会員、連絡用アドレスをご記入のうえ、下記アドレス宛お送りください

[apusera\\_ws01@yahoo.co.jp](mailto:apusera_ws01@yahoo.co.jp) 詳細は、申込者に追ってお送りいたします。

アドレスは、apuseraとwsの間にアンダーバー（ \_ ）があります。

参加締め切り：11月3日（先着順）締め切り以降のキャンセルでは参加費を払って頂きます。

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会

協力：金城学院大学 医療薬学 網岡克雄

薬剤師研修センター認定(申請予定)

日本アプライド・セラピューティクス学会ホームページ：<http://www.applied-therapeutics.org/>